

国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所 経験者採用職員（総合職）公募
（寒地水圏研究グループ寒冷沿岸域チーム 主任研究員または研究員）

職 名：寒地水圏研究グループ 寒冷沿岸域チーム 主任研究員または研究員

勤務場所：国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所（札幌市）

募集人員：1名程度

着任予定時期：令和8年4月1日以降のできるだけ早い時期

応募締切：令和7年12月10日（水曜日）17時必着

採用後の位置づけと定年制への移行：

基本的に任期は3年間ですが、パーマネント（定年制）への移行を希望する者については、任期中の実績や土木研究所への貢献等を総合的に考慮しつつ、審査を経てパーマネントの研究員に移行することが可能です。

募集の背景：寒地土木研究所寒冷沿岸域チームでは、主に北海道周辺海域、とりわけオホーツク海を対象に、流氷・海氷、海洋・海岸環境、および港湾・海岸構造物に作用する外力やその力学的応答に関する研究を行っています。対象とする研究は、自然現象のメカニズム解明に関わる基礎研究から、行政施策や国土保全を支える応用的研究にまで幅広く及びます。

近年はとくに、下記のような分野に注力しています。

- ・海氷をとまなう津波の挙動解明と防災・減災対策の検討
- ・気候変動および海氷減少にとまなう海象（海の自然現象）の変化メカニズムと将来予測
- ・海象の変化を考慮した海岸・港湾構造物の安定性評価、劣化・損傷に関する診断と維持管理手法の開発

これらは、地球温暖化への対応や国土の防災・減災といった国の重要施策とも深く関わる、社会的意義の高い研究分野です。

このたび、私たちとともにこれらの研究を推進し、将来にわたり新たな研究課題の企画・立案にも積極的に関与していただける研究職員を広く募集いたします。

本研究分野は、海岸工学・港湾工学をはじめとする土木工学のほか、防災、海洋科学、気象、環境科学、水産学、熱力学、AI・データサイエンス、確率論、数理統計学など、さまざまな学問領域と関連しています。ご自身の専門性や得意な手法・ツールを活かして、自由な発想で研究に取り組んでいただくことが可能です。とくに海や流氷に関する研究や実務経験がなくとも、自然現象への関心と社会課題への意欲を持ち、研究遂行や施策支援、新たな研究課題の立案、研究チームの運営などに積極的に取り組んでいただける方を歓迎いたします。

地域および地球規模の課題解決に貢献する研究に、私たちとともに取り組んで頂ける方、多様な背景を持つ方々のご応募を心よりお待ちしております。

職務内容：採用後は、以下の業務に従事していただきます。

- ① 寒冷環境における海洋・海岸・港湾等に関する調査・研究の遂行：特に、気候変動に伴う高潮・高波への対策、海氷に伴う津波への対策といった防災に関する研究開発に従事。
 - － 実験、モデリング、数値計算、データ解析、現地観測、文献調査等を通じた基礎・応用研究など
- ② 新たな研究課題の企画・立案
 - － 社会的要請や将来課題を見据えた研究テーマの創出
- ③ チーム運営に関わる業務への参画
 - － 調達・物品管理などの庶務、研究イベント・見学会等の企画・運営補助など
- ④ 研究成果の社会実装および技術の普及・支援
 - － 行政機関や民間事業者等への技術指導、成果の発信・共有活動など
- ⑤ 若手研究者や学生等の人材育成
 - － チーム内外の次世代研究者の育成への貢献（指導・支援）など

応募条件：【主任研究員】

- 1) 理工系分野の修士以上の学位を有する者。
- 2) おもに理学や工学を中心とした自然科学分野における専門的知識と経験（土木工学とくに海洋・海岸工学又は港湾工学の専門的知識であれば尚可）を有し、海洋・海岸環境や構造物、あるいは自然科学分野に関連する現象・システムに関する研究実績もしくは調査・設計などに関する実務実績を10年以上有すること。
（大学院博士課程（博士後期課程）については経験年数に含む）
- 3) 業務の遂行に必要な日本語能力を有する者。
- 4) 上記の職務内容を理解し、職務内容①～⑤を意欲的に取り組んで頂ける方
上記1)～4)を満たすことを条件とする。

【研究員】

- 1) 理工系分野の修士以上の学位を有する者。
- 2) 以下のいずれかに該当する者。
 - イ おもに理学や工学を中心とした自然科学分野における専門的知識と経験（土木工学とくに海洋・海岸工学又は港湾工学の専門的知識であれば尚可）を有し、海洋・海岸環境や構造物、あるいは自然科学分野に関連する現象・システムに関する研究実績もしくは調査・設計などに関する実務実績を5年以上有すること。
（大学院博士課程（博士後期課程）については3年を限度として経験年数に含む）
 - ロ イに掲げる関連する専門知識と経験を有し、イに掲げる実務について3年以上の経験を有すること。
（但し大学院博士課程（博士後期課程）については経験年数に含めない）
- 3) 業務の遂行に必要な日本語能力を有する者。
- 4) 上記の職務内容を理解し、おもに職務内容①～④を意欲的に取り組んで頂ける方

上記 1) ～ 4) を満たすことを条件とする。

待遇：※令和 7 年 9 月時点の内容

①勤務日・勤務時間：月～金曜日 8:30～17:15（フレックス制度あり）

②給与等

基本給：【主任研究員】352,000 円～（学歴、職歴等を考慮して決定します）

【研究員】306,600 円～（学歴、職歴等を考慮して決定します）

その他手当：地域手当、役職手当（主任研究員）、時間外勤務手当（研究員）、
扶養手当、通勤手当等を支給

賞与：年 2 回（6 月、12 月）

昇給：年 1 回

③空きがある場合には、公務員宿舍へ入居可能

④年次休暇：15 日（令和 8 年 4 月 1 日採用の場合）

毎年 1 月に 20 日付与、20 日まで翌年に繰り越し可能

⑤特別休暇：夏季休暇 3 日間の他、結婚、出産、忌引等の場合

⑥子育て支援制度：土木研究所は「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定（くるみん認定）を受けており、仕事と家庭（育児）の両立に向けた制度が充実しています。

女性活躍推進：土木研究所は女性活躍推進行動計画に基づき、女性研究職員の積極的な採用を進めています。

選考方法：書類審査、適性検査、選考試験（面接等）に基づき、応募条件を満たすもののうちから、応募条件に掲げた知見、実務・研究経験、職務内容の理解度、職務遂行意欲に最も優れた者を選考する。

適性検査、面接は WEB（オンライン）での受験も可能です。

提出書類：様式自由、書類は全て A 4 サイズ

(1)履歴書（弊所指定、ホームページに掲載）

(2)これまでの業績（研究もしくは実務内容）の概要

(3)業績リストおよび代表的な実績（論文・報告書・プロジェクト資料・メディア掲載記事等、3 件以内の写しを添付）

※アカデミックな論文に限らず、実務・研究開発・政策提言・地域貢献などに関連するアウトプットを含めて構いません。

※資料の形式は自由です（公開資料、社内報告書、成果物の概要、企画書等でも可）。

(4)職務に関する本人の抱負（1,000 字以内）

なお、主任研究員、研究員の希望（あるいはいずれも可）を記すこと。

(5)修了証明書（最終学歴のもの。修了見込みの場合は、それを証明できる書類）

なお、応募書類は返却しません。

書類提出先、問い合わせ先：

〒062-8602 札幌市豊平区平岸1条3丁目1番34号

国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 管理部管理課人事担当宛
封筒に「寒地水圏研究グループ（寒冷沿岸域チーム）経験者採用職員応募書類在中」と
明記の上、書留で郵送のこと

TEL:011-841-1624 E-mail: jinji-kyouyuu(a)ceri.go.jp

※「(a)」は、「@」に読み替えるものとする。

以上